

学校新聞を作ろう!

学校新聞作りは子ども達が日常生活における様々なスキルを実践する絶好の機会です。「新聞を作る」という実際の活動を通して子ども達は次のようなスキル（能力）を実践することができます

- コミュニケーション能力
- 読む力
- 計算する力
- 文章の能力
- 写真撮影の技術
- 社会的な交流を持つ力

●子ども達と学校新聞を作る前には以下の作業が必要です。

1. どんな記事を作るか決定します。学校やクラスでまもなく開催される面白いイベントやニュース等も内容として考えます。

特集記事、ビジネス、スポーツ、料理、芸術・娯楽、イベント、マンガ・

2. 子ども達を支援するコミュニケーション機器や身の回りの機器を動かす製品を準備します。

〈準備する製品の例〉

【コミュニケーション機器】



ビッグマック



ステップバイステップウィズレベル



トークトラックプラスウィズレベル



アイトーク

【身の回りの機器を動かす製品】



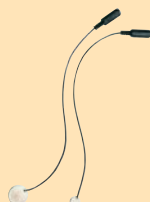
パワーリンク2



スイッチ



スイッチラッチアンドタイマー



BDアダプター

●生徒達にこれからする新聞作りという活動の流れと役割を説明します。今回紹介するのは実際に生徒が作ったアイスクャンデーの人気調査の記事です。

1) 作成する記事の説明

教諭が生徒達にこれから作る記事の説明を行ないます。

教諭は材料、使用する支援機器（コミュニケーション機器、身の回りの機器を動かす製品）、作り方を説明します。



2) 準備

生徒は作り方を声に出すか、またはVOCAを使って読み上げます。

アイスクャンデーはソーダ味とオレンジ味の2つ作り、どちらのアイスクャンデーの人気の高いのか学校内の人へインタビューします。

3) 情報の収集&インタビュー

情報収集するためには相手から答えを引き出すインタビューが欠かせません。生徒は支援者（支援者、ボランティアスタッフ）と共にインタビュー内容を考えて決定します：

〈インタビューのメッセージ例〉

「学校新聞のアンケートに協力してください。2種類のアイスクャンデーをまず食べてみてください。」

「どちらが美味しかったですか？」

「ご協力ありがとうございました。」

子ども達の出来ることに関わらず、VOCAを使って自然な設定の中で主体的なコミュニケーションの機会を持つことができます。

実際のインタビュー状況

ステップバイステップを使用してインタビューをしています。インタビューの質問への答えは支援者が書き留めるか、入力できる生徒が行います。



情報収集の方法として・・・

☆ 質問の答えを集める方法としては、投票ボードを準備したり、VOCAで答えてもらう方法もあります。

☆ テープに録音すると情報が正確だったか、後で確認する大切な資料となります。



このインタビューを通し、子ども達は他者とのコミュニケーションを学びます。